

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ吉備中央

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	1	・利用者数の増加に伴い、スペースの確保が課題である。	・現在は個別のワークエリア、宿題エリア、プレイエリア、カムダウンエリアと各訓練室を仕切りながら使用を行っております。利用者の増加に伴い、再構造化を定期的に行い、適切なスペースの確保を目指していきたいと思っております。
	2	職員の配置数は適切である	3	1	1		・職員の体制は指定基準を満たしたものとなっております。また、保育士、社会福祉士、言語聴覚士等の資格を有したものが支援を行っております。利用者様の個別ワークでの学びの時間を確保した取り組みを実施することから適切でないと感じられる意見もあるものの、指定基準より多い人数配置となっております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		・保護者アンケートをもとに次年度の事業計画を作成し、業務改善を行っている。	・自己評価を元に保護者の方のご意見を受け、新たな業務改善を行っております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2		・現在は第三者による外部評価を行っておりません。法人での評価を行い、次年度の事業に生かしております。しかし、当法人の他事業所の管理者の視察アドバイスやスキルアップ研修として専門機関の先生による巡回相談の機会を設けておりません。

適切な支	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 月に1回のケース会議に加え、2か月に一回の法人での学習会を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が学べる場として法人での学習会を行っております。職員の研修会での学びの報告や専門的な支援についての発表、虐待研修、実践的な支援の検討会など様々な研修の機会を作っております。また、事業所内でも月に1、2回ケース会議を実施し、お子様の支援についての原因や支援方法の整理、ねらいの共有などを行っております。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			<ul style="list-style-type: none"> 根拠のある書籍専門書を使用し、評価・計画立てを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠のある専門的な支援の構築として認知機能面、見る力、聞く力、他者との関わる力、心の理論など多くのアセスメントを実施しております。また、相談機関からの保護者様やお子様の思いを元に放課後等デイサービス計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 専門的なツールを元として支援をする為、プログラムについても方向性が決まっていることにより、個別に立案した取り組みを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムについては管理者の指示の下、大目標やプログラムの設定があります。各職員が個別のお子様への支援へ整理を行い、取り組みを行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			<ul style="list-style-type: none"> 休日のつむぎサークル、平日のつむぎクラブなど、目的を持った療育設定がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 平日には宿題や発達面に関する取り組みを実施しております。休日には社会生活に必要なスキルの向上を目標にした支援を実施しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			

援 の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担については伝えられているが、支援の内容についてまで確認を行えないこともある。 ・運営ボードにて動きの確認や昼礼を行っている。長期休暇などは支援にあたる時間が多いため、時間がとりにくい状況もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼礼の時間を設け、お子様への支援や保護者とのやり取りなどの情報共有を行っております。当日の運営ボードの作成も行っており、時間や場所、取り組む内容などが整理され、職員が見て取り組める環境設定の構築を心がけております。 	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その日に振り返りを行っていないが、気になる点については管理者へ報告し、対処方法を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が営業時間までいらっしゃり、支援終了後の打ち合わせは行っておりません。必要な情報は管理者へ報告を行い、翌日の昼礼にて情報の共有を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	3	2			<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの総則の基本活動として取り組み、特に自立に向けた支援を大切にしております。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・職員育成を含めて様々な職員が参画をしている。事前に会議に向けた書類作成を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議では管理者だけでなく、現場スタッフなど様々な職員が参画し、情報の共有を行っております。サービス担当者会議に向けては参加職員が事前書類を作成し、管理者の確認の元、参画しております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					<ul style="list-style-type: none"> ・現状利用者はいらっしゃいません。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	2		・現在、同左のような専門機関との連携、助言はありません。しかし、当法人の他事業所の管理者の視察アドバイスやスキルアップ研修として専門機関の先生による巡回相談の機会を設けております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	3		・今年度は新型コロナウイルスの関係で開催できておりませんが、つむぎのイベント活動を予定し、その中で一般のお子様と触れ合う機会を企画しておりました。次年度以降も企画検討を行いたいと思っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2			・吉備中央町障害者等地域自立支援協議会教育部会に参加し、相談支援ファイルの作成に携わっております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		・評価や目標は定まっているが、共通理解までは難しい部分があると感じる。	・保護者様には申し送りとして課題の達成度やその様子、ねらいなどをご説明しております。共通理解を持つには多くの時間とお子様への理解が必要であり、申し送りに加え、保護者座談会やプランのご説明などでお伝えしていきたいと思っております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5			・開催はしているが、参加者はなし。 ・参加募集は行いが、参加希望はなし。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			・コロナの影響で開催が難しい状況である。座談会は2か月に一度実施しているが、参加者は少ない。座談会を開催している。	・今年度は新型コロナウイルスの関係で活動の開催が少なくなっております。月に1回のペースで法人や事業所の座談会を保護者様向けに行っております。興味の持ちやすいテーマを考え、保護者様の情報共有となる場を意識した開催を催しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・つむぎ通信として週末に情報提供を行っている。また、フェイスブックにて啓発活動を行っている。	・行事予定や連絡に関しては週末につむぎ通信として情報発信を行っております。活動概要についてはフェイスブックにて啓発活動と合わせて情報発信を行っております。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	2		・事業所へ地域住民を招く取り組みは行っておりません。今年度は新型コロナウイルスの関係で中止となりましたが、地域のイベントに出店し、地域の方々との交流の場、法人の啓発活動の実施を計画しておりました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				

非常時の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		<ul style="list-style-type: none"> • 契約をさせていただく際に身体拘束を行わないことをお約束しております。しかし、1か月のアセスメント期間を経て切迫性、非代替え性、一時性として身体拘束について検討の必要がある際には保護者様へご報告、ご相談をさせていただくようにしております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> • ヒヤリハットや事故、意見苦情書を作成し、原因の追究を行い、対応策を講じ、周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> • ヒヤリハットについては報告書を作成し、原因を追究し、背景を明らかにした上で対応策を検討しております。事業所として決まったことを扨礼にて共有の時間を設けております。

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～

|